

令和7年度 第6回運営推進会議

令和8年3月19日(金)
社会福祉法人エンゼル福祉会
グループホームあじさい

1. 運営推進会議の趣旨

I. 運営推進会議の目的

1. 事業所運営の透明性の確保
2. サービスの質の確保
3. 事業所による「囲い込み」の防止
4. 地域との連携の確保

II. 地域密着型サービスの役割

- ① 本人本位の支援
- ② 継続的な支援
- ③ 地域で暮らし続けることの支援
- ④ 地域との支えあい等を理念とする地域密着型サービスは、入居者のより良い暮らしを着眼点に本人と地域との関係を断ち切らない支援

上記の役割を担うため、事業所と地域との良好な関係を築き、事業所が提供するサービスが住民ニーズに即した価値のある地域資源として機能していく必要がある。入居者がどのような暮らしを望み、これからサービスを利用するかもしれない住民が何を期待しているのかを知らなければならない。

運営推進会議は、事業所と地域との関係をつなぐ一つの手段であり、地域密着型サービスを“事業所と地域住民とが一緒に育てていく”ことを目的に行っていく。

2. 認知症対応型共同生活介護（グループホームあじさい）【運営状況報告】

● 入居・退居状況（令和8年1月17日～令和8年3月19日現在）

フロア	入居者	退居者	在籍数
1階	0名	0名	8名(満室)
2階	3名	1名	9名(満室)

● 入院等の状況（令和8年1月17日～令和8年3月19日現在）

フロア	入院	入院理由	入院日数合計
1階	0名		0日
2階	0名		0日

● 平均年齢と平均介護度（令和8年3月19日時点）

フロア	平均年齢	平均介護度
1階	87.6歳	1.8
2階	86.7歳	2
全体	87.1歳	1.9

● 看・介護職員人員体制（人員配置基準 3:1）（令和8年3月19日現在）

フロア	入職者	退職・派遣終了	常勤換算
1階（亀）	0名	0名(1名今月末で退職)	6.2人
2階（鶴）	0名	0名(1名今月末で退職)	5.4人
全体	0名	0名	11.6人

● 事故・苦情の発生状況（令和7年1月17日～令和8年3月19日現在）

	転倒・しりもち	転落	誤薬・落葉	行方不明	その他
4月	2	0	0	0	1
5月	3	0	0	0	2
6月	3	0	0	0	1
7月	14	0	0	0	0
8月	5	0	0	0	0
9月	3	0	0	0	1
10月	3	0	0	1	1
11月	5	0	0	0	2
12月	6	0	1	0	1
1月	1	0	0	0	3
2月	0	1	2	1	3
3月	0	0	0	0	0
年間合計	45	1	3	2	16
前年度計	18	1	3	0	8
前年対比	+27	0	0	+2	+8

令和 8 年 1 月 17 日～ 令和 8 年 3 月 19 日現在)

フロア	事故種別	件数	内容
1F	その他 (チューブ 抜去)	1 件	1/17(土) 就寝中バルーンが見つからず、ベッド横の衣装ケースの中にカテーテルがきれいに抜けた状態で置いてあった 陰部に出血や傷等 (一) つばめクリニック報告、バルーン挿入
	(離設)	2 件	1/21(水) 職員が 2 階に上がったタイミングで玄関から離設 他職員が 2 階から職員のみ戻ってきた事で不在を確認 施設を出て公園方向へ歩いているところを発見する
	その他 (服薬忘れ)		2/4(水) 昼食後薬の服薬忘れを発見する 主治医に報告を行い 服薬はスキップ
	その他 (机と接触)	2 件	2/5(木) 自席にて編み物をしていたら毛糸が床に落ち 拾う際テーブルに額をぶつけた 外傷・痛みの確認
	転倒	1 件	2/7(土) 大きな音が鳴り様子を見にいくとベッド側に頭にして 床に座っており「頭打っちゃった」と言われる 意識確認 傷確認(後頭部腫れあり) バイタル測定 アイシングする
	1 F 合計	5 件	
2F			
	転倒	1 件	1/16 (金) 夕食準備時、ランチョンマットを抱えて歩行中 椅子に掴み損ねてそのまま転倒される 痛みの訴え無し、赤みや痣無し
	その他 (前額部皮下 血腫を発見)	1 件	1/19 (木) 通常ケア中、前額部に腫脹を発見 全身チェックを行うが痣や怪我はなし 様子観察を行う 以降特変なし
	誤薬		2/2 (月) 服薬不要な日に誤って便秘薬を服用させてしまう 主治医に報告を行い 様子観察を行う
	誤薬	2 件	2/2 (月) 服薬不要な日に誤って便秘薬を服用させてしまう

	主治医に報告を行い 様子観察を行う		
その他 (自己動作による事故)	2件	2/17 (火) ベッドに臥床する際勢いよく寝転び壁に後頭部を激突 頭部外傷・痛みなし 意識清明 バイタル測定 様子観察を行う	
	5件		

●各階の様子、活動内容

フロア	内容
1階 (亀)	編み物が流行っており無我夢中で編んでいる。作品として、綿棒ケース、帽子、コースター等できてる。注文したらなんでもできると思います。
2階 (鶴)	2月3月と立て続けに新規入居者が入られました。最初はいろいろ考察や予想を考える方でしたが、いざ入居すると落ち着かれて毎日を楽しまれています。


●会議・委員会・カンファレンス・研修等 (令和8年1月17日～令和8年3月19日現在)

フロア	開催件名	実施日	構成メンバー・内容
共通	あじさい全体会議	2月1日中止書面 3月27日予定	管理者・ユニットリーダー・ 介護職員 ・各委員会より活動報告 ・近況報告・運営状況 ・事務連絡
共通	・虐待防止委員会 ・身体拘束廃止委員会	毎月	管理者・介護職員 ・自施設内の身体拘束及び不適切な対応の有無についての確認 ・2回目の研修の実施
共通	感染症対策委員会	毎月	管理者・介護職員 ・季節の変化に伴う感染症について ・2回目の研修の実施
共通	事故防止委員会	随時	ユニットリーダー・介護職員 ・事故内容の分析 ・是正対応の効果の確認
共通	災害対策委員会	毎月	ユニットリーダー・介護職員 ■施設内備蓄品および備蓄量 ・備品の賞味(費)期限の確認

1階	フロア会議 ケアカンファレンス	※毎月開催※	管理者・介護職員 ・プラン更新に伴う見直し
2階	フロア会議 ケアカンファレンス	※毎月開催※	管理者・ユニットリーダー・介護職員 ・プラン更新に伴う見直し ・新規入居者について
共通	法人全体会議	2月27日 3月27日(予定)	管理者

【その他】（令和7年1月17日～令和8年3月19日）

フロア	活動状況	内容
共通	訪問理美容	3月4日実施
共通	誕生日会	1階3名実施(3月3名) 2階2名実施(3月2名)
共通	東京福祉専門学生	2名計18日間
共通	大衆演劇	3月9日計10名の入居者
フロア	予定	内容
共通	お花見会	3月下旬
共通		



令和8年3月19日運営推進会議
グループホームあじさい
不適切ケア・虐待防止に関する取り組み

令和6年度 高齢者虐待防止の防止、高齢者の養護者に対する 支援等に関する法律に基づく対応状況に関する調査結果（厚労省）

【調査対象】

- ・ 全国1,741市町村（特別区を含む。）及び47都道府県。

【調査結果概要】

- ・ 高齢者虐待判断件数等

	要介護施設事業者等によるもの		要介護者によるもの	
	虐待判断件数	相談・通報件数	虐待判断件数	相談・通報件数
令和6年度	1220件	3633件	17133件	41814件
令和5年度	1123件	3441件	17100件	40386件
増減（増減率）	97件（8.6%）	192件（5.6%）	33件（0.2%）	1428件（3.5%）

高齢者虐待の事実が認められた件数は、養介護施設従事者等によるものが令和6年度で1,220件であり、前年度より97件（8.6%）増加したのに対し、養護者によるものは17,133件であり、前年度より33件（0.2%）増加した。また、市町村への相談・通報件数は、養介護施設従事者等によるものが3,633件であり、前年度より192件（5.6%）増加したのに対し、養護者によるものは41,814件であり、前年度より1,428件（3.5%）増加した。虐待の相談・通報件数に占める虐待判断件数の割合の推移をみると、養介護施設従事者等による虐待件数の割合は増加傾向にあり、養護者による虐待件数の割合は減少傾向にある。

【調査対象】

・東京都

【相談・通報件数】

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
件数	205	219	318	380	462
増減	-32	14	99	99	82

令和6年度、都内で受け付けた養介護施設従事者等による高齢者虐待に関する相談・通報件数は、462件であった。令和5年度は380件であり、82件（21.6%）増加した。

【相談・通報者】

相談・通報者の内訳は「当該施設職員」が29.7%と最も多く、次いで「施設・事業者の管理者」が22.7%、「家族・親族」が14.7%であった。

【虐待の内容】

要介護施設事業者等による被虐待高齢者として特定された人のうち、虐待の種別では、「身体的虐待」が最も多く、次に「心理的虐待」、「介護等放棄（ネグレクト）」であった。

【被虐待高齢者の状況】

被虐待高齢者2,248人のうち1,627人が「女性」を占め、年齢は85～89歳が521人、90～94歳が511人、要介護状態の区分は「要介護度3以上」の者が最も多く1693人、認知症高齢者の日常生活自立度Ⅱ以上の者が虐待高齢者全体の75.3%を占めた。

【虐待を行った養介護施設事業者等（虐待者）の状況】

養介護施設事業者等による虐待において特定された虐待者1,409人のうち、年齢は「30～39歳」が252人、「50～59歳」が247人、「40～49歳」が222人「60歳以上」が166人、「30歳未満」が137人であった。

性別としては、「男性」754人（53.5%）、「女性」が614人（43.6%）であった。

【虐待の発生要因】

「虐待を行った職員の課題」区分に含まれる項目が上位を占め、同区分内「職員の虐待や権利擁護、身体拘束に関する知識・意識の不足」が最も多く、次に「職員の倫理観・理念の欠如」、「組織運営上の課題」、「職員の指導管理体制が不十分」があった。

あじさいでの 取り組み

あじさいでは、下半期上半期に分けて**年2回の虐待防止
及び身体拘束廃止の研修**を実施しています。

未経験から介護される方はもちろん、長く勤続されている方にも毎年受けてもらい、そもそもどのような行動や言動が「虐待」や「身体拘束」などにあてはまるのか、「虐待」や「身体拘束」が起こらないためには何に気を付ければよいのか、職員一人一人が考え話し合い、**知識と意識を高めています。**

その研修のなかには、ケアチェックシートもあり、自分の言動や行動を振り返る目的も含まれています。

あじさいでの 取り組み

「虐待」といっても、殴るや蹴るや、急に暴言をまき散らす等のあからさまな虐待がとつぜん起きるとは考えにくいです。

あじさいでは、虐待に繋がるかもしれない言動や行動つまり「グレーゾーン」と呼ばれる不適切ケアをより深く考えています。

内容を一部ご紹介します。

あじさいでの 取り組み

チェック項目として

- ①プライバシーへの配慮に欠けたケアをしてませんか？
- ②入居者への声掛けなしに介助したり、居室に入ったり、勝手に私物に触っていませんか？
- ③入居者からの呼びかけや、介護する側の意図しない行動に対して、どうしましたか？と理由を確認せず、「ちょっと待って」という言葉で待たせる事はありませんか？

などがあります。

あじさいでの 取り組み

①プライバシーの配慮に欠けたケアとは

- ・ 入居者の排泄や行為などの介助時にカーテンや出入口をあけたままにする。
- ・ 体の露出が必要以上に多い状態で放置する。
- ・ 入浴の際、脱衣所で長時間裸のまま待たせる。

などがあります。

→これらは、入居者に嫌悪感や恥ずかしさを与え、人としての尊厳を傷つける不適切なケアなので、周囲の目にも気を配りながら支援しています。

あじさいでの 取り組み

②入居者への声掛けなしに介助したり、居室に入ったり、私物に触ったりすることは言葉の通りです。

- ・整理整頓のつもりでも、許可なく物を移動させることや処分する事。

→声掛けなしの介助、入室、私物への接触も入居者の尊厳を傷つける「不適切なケア」です。

不安や不信感を与え、身体的、精神的なリスクも高まるため、必ず声掛けして心の準備を促し、安全な介助とプライバシーに配慮してケアしています。

あじさいでの 取り組み

③入居者からの呼びかけや、介護する側の意図しない行動に対して、どうしましたか？と理由を確認せず、「ちょっと待って」という言葉で待たせる事はありませんか？

この行為は「スピーチロック」と呼ばれる不適切なケアの一種であり、利用者の尊厳を傷つけ、精神的な不安や行動、心理症状の悪化を招く可能性があるとして介護現場で注意が喚起されています。

あじさいでの 取り組み

では「なぜ」その声掛け（対応）が問題なのか？

- ・ 尊厳の低下と不安
→「後回しにさえた」と感じ、不安や不信感を抱く。
- ・ 身体的・心理的リスク
→トイレの訴えを無視すると失禁につながり、自尊心を傷つける。また、理由を聞かないことで、本当の訴え（痛み、不安、不快感）を見逃す原因となる。

ですが、必ずしもすぐに対応できない状況もあります。

あじさいでの 取り組み

例えば、職員がAさんのトイレの介助中にBさんが黙って外に出ようとしていたら…

ついつい「ちょっとまって」と言ってしまうことも…

あじさいでは2人あるいは3人体制で支援を行っていますが、他の業務中や緊急対応中に声を掛けられ、物理的にすぐに対応できない状況があります。

あじさいでの 取り組み

では、わたしたちはそのような状況に対峙したらどう対応すればよいのか。

このような状況を想定し、委員会主催の研修や全体会議などで話し合い、現場に合った解決策を考えています。

相手の気持ちになって考えてみても、その人の中では不快感や嫌悪感を抱くこともないとはいえないので、相手がどんな言葉を求めているのか、「ひとりひとりの性格や個性」を知ることによって改善できることもあると思います。普段の生活でよく観察しその人にあった支援をこれからも大事にしていこうと思います。

入居者が自分らしい姿でいられるように